



# Les Clefs d'Or Japan

レ・クレドール ジャパン 会報誌 “キー・ニュース”

## Key News



2013年9月 第3号

### 第8回アジアンコンgres2013開催 日本から15名参加

レ・クレドールジャパン参加者 (敬称略)  
多桃子 (国際名誉会員)  
田嶋益美 (マンダリンオリエンタル東京)  
阿部佳 (グランドハイアット東京)  
今泉愛子 (グランドハイアット東京)  
川村一司 (パレスホテル東京)  
小島久枝 (ホテル日航金沢)  
浜崎純 (ホテルオークラ東京)  
山本美砂 (ホテルグランヴィア京都)



去る8月21日から24日にかけて、天使の都と称される、タイの首都バンコク、アマリウォーターゲートホテルにおいて、第8回アジアンコンgresが開催されました。日本からは日本コンシェルジュ協会会員と併せて15名が参加しました。

初日は、ショッピングセンタービル最上階の天空レストラン、ホライゾン@ヘブンにて歓迎レセプションが行われました。

素晴らしいバンコクの夜景を堪能し、レ・クレドール タイの皆さんによる、温かなウェルカムパーティーでした。

二日目は、タイの旧都アユタヤへ。バスで約1時間半に位置し、1350年から1767年までタイの首都でした。京都に似ており、アユタヤ県には今でも約500もの寺院が残されています。



訪問したのは中心地であったワットチャイワッタナラムとワットマハタット。ワットとはタイ語で寺院の意味です。あの有名な、木の根元に仏像が埋まっている場所でも記念撮影をしました。

1767年に多くの寺院がビルマ軍により破壊されたにも関わらず、その遺跡は現在も保存されており、今も仏教の影響を強く受けているタイの歴史を存分に感じることができました。



夜はチャオプラヤークルーズへ。船上では、タイ料理はもちろんインド、ベジタリアン、ハラールとバラエティーに富んだ料理が並び、バンド演奏が行われ、賑やかな雰囲気の中、参加者は交流を深めました。船上からはライトアップされたパゴダや王宮などが見え、とてもロマンティックなクルーズでした。

三日目、午前中は会場ホテルにて、レ・クレドール タイのプレジデントによる開会挨拶が始まり、インターナショナルゼネラルセクレタリーであるマイケル・ロメイ氏が、インターナショナル

プレジデントの祝辞などを紹介しました。中でも印象的だったのは、レ・クレドール ジャパンの活動をアジアの朋友へ紹介されたことでした。隔月発行の同誌キーニュースや、前インターナショナルプレジデントのヴァージニア・カザーレ氏を日本に招いてコンシェルジュセミナーを行い、日本のコンシェルジュ育成に力を注いでいることなどを紹介されたことです。



その後、ロメイ氏による講義へと進み、その中身はすぐにも現場で応用できる内容ばかりでした。

講義中、ロメイ氏が次の質問が投げかけました。「ゲストが自分を苗字ではなく、ファーストネームで呼んでくれと仰った場合どのように対応しますか」。参加者が、ゲストの希望通りにファーストネームで呼ぶべきではと答えると、ロメイ氏はそれを否定しました。ゲストを一度ファーストネームで呼び始めると、微妙にゲストとコンシェルジュの関係が変化してしまう。だから、コンシェルジュとしては、やはりゲストには尊敬をこめて苗字で呼び続けるべきである。

また、ロメイ氏は文書作成時の誤字には十分に気を付けることも促しました。ある調査によると一つの誤字があるだけで、ゲストの信頼は半分に失われてしまうとの結果があるそうです。さらに、それによって生じた損失額も膨大になります。メールであればスペルチェック機能を必ず使用し注意する必要があります。



その後、レ・クレドール ジャパン田嶋プレジデントより2015年に東京で開催される次回アジアンコンgresの紹介が行われ、映像による東京紹介の後、浜崎氏による大会概要の説明がなされました。

最終夜を飾るガラディナーは、まるでオスカー授賞式のような華やかな雰囲気、各国参加者が艶やかな民族衣装に身を包み、方々で写真撮影が行われるなど、アットホームで心温まるものでした。



今回は、短期間の中、朝早くから夜遅くまで予定が組まれ、忙しくも充実した時間を過ごすことができました。

また、2015年の私達によるアジアンコンgresに向けて、沢山の情報収集ができ、見習うべき点や改善点などを持ち帰り、組織委員会で反映させていきたいと思っています。

毎日、朝から晩まで忙しい仕事の合間に準備して下さったタイの友人たちに、心から感謝したいと思います。

本当にありがとうございました。コップンカ！！ (川村一司)

### ルレ・エ・シャトー交流会開催 明神館を訪問

去る9月2日、ルレ・エ・シャトーとレ・クレドール ジャパンの交流イベントが開催され、松本市の明神館を訪れました。まず一行は、松本市の“ヒカリヤ”にて、地元の素材を中心に、食の大切さ、楽しさを伝えたいという料理人の愛情溢れる料理を歴史的建物の趣きある空間で堪能しました。その後、神様が湯治に訪れる場所だったと言われ、自然と共存する明神館を訪れました。

重厚な雰囲気のロビーを通り山の空気を感じる談話室、様々なタイプの部屋と風呂を見学させて頂き、ひと時のリラクゼーションを楽しみました。

その後、ルレ・エ・シャトーによる発表が行われました。伝統あるフランスの組織において、日本の各メンバーの活躍やスパやヴィラ等の新規プロジェクトの話の伺い、また、各メンバーの方々と交流を深めました。(次田名緒子)

### アジアンコンgres組織委員会

去る9月18日に浜松にて開催されました。会合では、セミナーならびにワークショップの内容が議論され、8月にバンコクにて行ったアンケートが現在、集計作業中であること、そして、アジアンコンgres特設ページがレ・クレドール ジャパンウェブサイト内に10月に開設することなどが話されました。

### 活動フラッシュバック

- ー日本コンシェルジュ協会 8月例会が、レ・クレドールメンバーの芝田尚子氏(ザ・プリンスパークタワー東京)の幹事にて開催されました。
- ータイムアウト東京発行の“東京でしかない88のこと”にレ・クレドール ジャパンが協力いたしました。
- ー今夏開業したオービィ横浜内覧会が開催され、新コンセプトの大自然超体感ミュージアムを体験いたしました。
- ー今秋開業したばかりの Patina Tokyo よりディナー会へご招待を頂き、アメリカンフレンチスタイル料理を体験させて頂きました。